

1 教育目標（目ざす児童像含む）

○ よく考え、学ぶ子ども（知） ○ 自分を見つめ、つくせる子ども（徳） ○ 明るく、たくましい子ども（体）
～ かしこく・やさしく・たくましく ～

2 学校経営の理念（目ざす学校像含む）

自他の幸せの実現を目指し、変化の激しい21世紀を力強く生き抜くたくましい子どもの育成を目指す。そのために学習面においては、きめ細かな指導により基礎基本の徹底を図るとともに、認め合い、学び合う集団づくりに努める。生活面においては、積極的なあいさつの励行や時と場に応じた言葉遣いの指導など、礼儀正しく、誰に対しても真心をもって接する態度を育てる。また、地域、保護者との一層の連携を図り、地域に開かれた信頼される学校づくりに尽力する。

3 学校経営の方針（中期的視点）

- ・「上河内地区小中一貫教育・地域学校園」における児童生徒健全育成のテーマに沿って、本校を取り巻く地域の教育力を最大限生かした教育活動を展開する。
- ・あらゆる教育活動において、自分の考えを堂々と表現できる力の育成に努める。
- ・授業における個に応じたきめ細かな学習指導と、学習形態や意見交換の場の工夫による児童相互の学び合う環境づくりに努める。
- ・基本的生活習慣の徹底を図り、気持ちのよいあいさつや返事ができる、思いやりの心にあふれる児童の育成を図る。
- ・魅力ある学校づくり地域協議会等、学校支援者支援団体との連携強化により、地域の特色を生かした学校運営に努める。

4 今年度の重点目標（短期的視点）

～主体的に学び、自分の考えを進んで表現できる子どもの育成～

- （学校運営）・地域の教育力を生かした、開かれた学校を目指す。
- ・教職員の資質向上を図り、信頼される学校を目指す。
 - ・特別支援教育の理解の徹底と、個に応じた指導の充実を目指す。
- （児童指導）・すべての教職員がすべての児童と関わり、居がいのある学校づくりに努める。
- ・生命尊重の姿勢を育みながら、いじめゼロを目指す。
- （健康・体力）・業間を活用した体力づくりの励行
- ・食の指導や保健指導をととした健康保持のための指導の強化
- （学習指導）・楽しくわかる授業を展開し、基礎基本の徹底を図る。
- ・効果的な家庭学習の充実により、主体的な学習習慣の定着を図る。

5 自己評価（Aは共通評価指標、Bは学校独自評価指標）

（評価指標の〔全〕は、全体アンケート実施）

（「主な具体的な取組の方向性」には、A 拡充 B 継続 C 縮小・廃止、を自己評価時に記入）

項目	評価指標	主な具体的な取組	方向性	評価
教育全体の状況	A1 学校は、活気があり、明るくいきいきとした雰囲気である。〔全〕 【数値指標】 全体アンケート 「私は今の学校が好きです」 ⇒児童の肯定的回答80%以上	① 「かしこく、やさしく、たくましく」の合言葉の浸透を図り、笑顔と活気のある楽しい学校づくりを進める。		A1について 【達成状況】
	「学校全体に活気があり、明るくいきいきとした雰囲気である。」 ⇒保護者肯定的回答80%以上	② 学校行事では、児童が協力しながら主体的に活動する場を設定し、明るく生き生きと取り組ませる。		【次年度の方針】
		③ Q-Uの結果を分析し、児童一人一人がいきいきと学校生活を送ることができる学級経営を行う。		

A2 教職員は、組織の一員として誠実に熱心に教育に当たっている。〔全〕 【数値指標】 全体アンケート 「先生は大切なことを熱心に教えてくれる」 ⇒児童の肯定的回答８０％以上 「教職員は協力し、教えるべきことを熱心に指導している」 ⇒保護者肯定的回答８０％以上	① 学びに向かう集団に高めながら、児童一人一人が自らの力で様々な不適応を解消し、意欲的に学習活動に取り組めるように指導・援助する。 ② 職務の遂行に当たっては、キャリアや専門性、特性を生かし、見通しをもって創意ある取組を目指す。 ③ 保護者や地域住民へ、児童の様子の紹介や協力依頼の発信など進んでコミュニケーションをとり学校教育の理解を促す。 ④ 来校者・電話・連絡帳などでの手紙には、速やかに丁寧に対応する。 ⑤ 服務規律を守り、信頼される教職員を目指す。	A2について 【達成状況】 【次年度の方針】
A3 児童は、授業と生活のきまりやマナーを守り、秩序があり安全な学校生活をしている。〔全〕 【数値指標】 全体アンケート 「児童は、授業と生活のきまりやマナーを守って生活している」 ⇒児童の肯定的回答８０％以上 「児童は、授業と生活のきまりやマナーを守って生活している」 ⇒保護者肯定的回答８０％以上	① 児童が正しく判断し責任ある行動がとれるよう、その姿を「よい子の生活」に示し、学習と生活のきまりの徹底に努める。 ② 生活当番は、秩序があり安全な学校生活を実践できるよう週生活目標を設定し、掲示や放送、校内巡視などを行って意識づけをする。 ③ 避難訓練(火災・地震・不審者)、交通安全教室、防犯教室の実施や、「子ども１１０番の家」への理解等を通して、危機管理能力を高める。	A3について 【達成状況】 【次年度の方針】
A4 教職員は、分かる授業や児童にきめ細かな指導を行い、学力向上を図っている。〔全〕 【数値指標】 全体アンケート 「先生方の授業は分かりやすく、一人一人に丁寧に教えてくれる」 ⇒児童の肯定的回答８０％以上 「教職員は児童一人一人が理解できるように教材を工夫するなど、きめ細かな指導をしている」 ⇒保護者肯定的回答８０％以上	① 授業のねらいを明確にし、児童の関心や理解を促す教材開発や分かる授業のための指導法の工夫に努めると共に、共有化を図る。 ② 習熟度別学習や少人数指導、ＴＴ指導、かがやきルームやなかよしルームでの個別指導等を通して、児童一人一人の学習状況に応じたきめ細かな指導をする。	A4について 【達成状況】 【次年度の方針】

学校運営の状況	A5 日課、授業、学校行事など教育課程は、適切に実施されている〔全〕 【数値指標】 全体アンケート 「私の学校生活や様々な活動は充実している」 ⇒児童の肯定的回答80%以上 「学校の日課、授業、行事などは、適切に実施されている」 ⇒保護者肯定的回答80%以上	① 日課は、子どもにとってゆとりと秩序のあるものになるよう適切に実施する。 ② 新学習指導要領及び小中一貫教育の趣旨を踏まえ、学校スタンダードに示す取り組み実践するよう、各教科等年間指導計画・各種教育年間指導計画を見直すとともに、本校独自の教育活動を推進する。 ③ 学校行事は、その都度評価し、改善すべき点について検討して次年度に生かす。	A5について 【達成状況】 【次年度の方針】
	A6 学校の公開や情報の積極的な発信・提供が行われ、開かれた学校づくりが進められている。〔全〕 【数値指標】 全体アンケート 「学校は学校便りや学校公開などで、積極的に情報を発信・提供している」 ⇒保護者肯定的回答80%以上	① 学校だより、学年だより、保健だより、図書館だより、教育相談だより、食育だより等様々なたよりの作成において、関心を高める紙面の工夫に努めながら積極的に発信提供したり、ホームページを適宜更新したりして、保護者や地域住民に学校の取り組みを知らせる。 ② 授業参観、学校自由参観日、学校行事等において積極的に保護者や地域住民に学校を公開し、アンケートを実施して保護者や地域住民の意見を学校経営に反映させる。	A6について 【達成状況】 【次年度の方針】
	A7 学校と家庭・地域・企業等との連携・協力を図った地域の学校づくりが推進されている。〔全〕 【数値指標】 全体アンケート 「私は、地域や企業の方々と一緒に活動することで学習が充実し、楽しい」 ⇒児童の肯定的回答80%以上 「学校は、家庭・地域・企業等と連携・協力して、教育活動や学校運営の充実を図っている」 ⇒保護者肯定的回答80%以上	① 学校支援ボランティアの活用や出前授業、校外学習などにおいて地域の人材や施設・設備等の教育力を生かした学習を充実する。 ② 「魅力ある学校づくり地域協議会」において、児童の健全育成を目指し、学校・家庭・地域の連携を深める事業を推進しながら交流の輪を広げる。	A7について 【達成状況】 【次年度の方針】
	A8 校内は、学習にふさわしい環境となっている。〔全〕 【数値指標】 全体アンケート	① 校舎内外の美化に努め、児童自ら日常的に清掃活動に取り組むよう支援し、快適な学習環境作りを目指す。	A8について 【達成状況】

	「校内は、学習にふさわしい環境となっている」 ⇒児童の肯定的回答８０％以上 「学校は、荷物や備品が整理整頓されるなど、学習しやすい環境である」 ⇒保護者肯定的回答８０％以上	② 日々校舎内外の巡視をするともに、月１回施設・設備の安全点検を実施し、必要な箇所の修繕を迅速に行い学習環境の整備に努める。 ③ 適切に予算を執行し、指導計画に基づいて教材教具を整備してその適切な活用と管理に努める。	【次年度の方針】
	B1 教職員が情報を共有し、課題のよりよい解決に向けて全職員が一丸となって取り組んでいる。〔全〕 【数値指標】 全体アンケート 「情報を伝え合い解決に向けてそれぞれの役目を果たしている」 ⇒教職員の肯定的回答８０％以上	① 管理職及び職員間の報・連・相を大切にし、互いに声をかけ合うと共に、「報・連・相ノート」を活用して共通理解に努め協力し合う。 ② 問題行動発生時には、校長のリーダーシップのもと全職員が連携して組織的に取り組み、誠意ある対応を心掛ける。	B1について 【達成状況】 【次年度の方針】
生活	A9 児童は、進んであいさつをしている。〔全〕 【数値指標】 全体アンケート 「児童は、時や場に応じたあいさつをしている」 ⇒児童・保護者の肯定的回答８０％以上	① 各学年のあいさつ運動や地域協議会のあいさつ運動で意識を高めながら、日々の生活指導の中で明るいあいさつや元気な返事ができる子の育成を目指す。	A9について 【達成状況】 【次年度の方針】
	A10 児童は、正しい言葉づかいをしている。〔全〕 【数値指標】 全体アンケート 「児童は、時と場に応じた言葉づかいをしている」 ⇒児童の肯定的回答８０％以上 「児童は、大人に対して適切な言葉づかいをしている」 ⇒保護者・地域住民の肯定的回答８０％	① 相手の気持ちを考えた言葉づかいや場に応じた言葉づかいができる子の育成を目指し、生活と学習の両面から日常の指導を充実させると共に、道徳の時間の重点項目に掲げて指導の徹底を図る。 ② 朝の会や会話科、学級活動等で、時や場に応じた適切な言葉づかいができるよう、学年の発達段階に応じた指導をする。	A10について 【達成状況】 【次年度の方針】

健康・体力	B2 学級のみんと仲良く、助け合って生活している。〔全〕 【数値指標】 いじめの実態調査 ⇒いじめの解消率100%	① いじめの早期発見・早期対応のため、年度当初にいじめの実態調査の日程を決めて定期的を実施して実態把握に努めるとともに、年に2回定期教育相談を実施して問題の早期発見や信頼関係の醸成に努める。 ② 道徳の授業の公開や人権週間の様々な活動を良い機会としながら、日々の体験を通して人権意識を高め、思いやりの心やわがまに打ち勝つ強い心を育む。	B2について 【達成状況】 【次年度の方針】
	B3 にこにこ班活動(縦割班)で仲良く協力し合って活動している。〔全〕 【数値指標】 本校独自アンケート 「児童は、にこにこ班活動で仲良く協力し合っている。」 ⇒児童の肯定的回答80%以上	① 日々の清掃活動や学校行事、月1回の共遊などのにこにこ班活動の機会を設定し、協力して仕事や活動ができるようにする。	B3について 【達成状況】 【次年度の方針】
	A11 児童は、進んで運動する習慣を身に付けている。〔全〕 【数値指標】 全体アンケート 「児童は、休み時間や放課後などに進んで運動している」 ⇒児童の肯定的回答80%以上	① ミニマム達成のための運動プログラムを実施して運動の日常化に努めながら、教科体育においては授業の開始に当たってサーキットトレーニングを実施し個に応じた体力づくりに努める。 ② 態度基礎訓練として、特に「気をつけ」時の足の開きを徹底する。 ③ 学級においては、水曜日のロング昼休みに共遊の時間を確保するように努め、体力向上を目指すとともに学級の人間関係の構築を図る。	A11について 【達成状況】 【次年度の方針】
	A12 児童は栄養にバランスを考えて食事している。 【数値指標】 全体アンケート 「児童は、好き嫌いなく給	① 学校栄養職員の取組みを生かし、教室やランチルームでの給食指導の充実を図ったり、保護者への啓発に努めたりしながら、望ましい食習慣を育て食事のマナーを身につけさせる。	A12について 【達成状況】

	食を食べている。」 ⇒児童の肯定的回答 80% 以上 「自分の子どもは、好き嫌がなく食事をしている」 ⇒保護者の肯定的回答 80%	② 食事をとることの大切さについて、学年に応じた授業を通して理解を深め、自ら実践する態度を育てる。	【次年度の方針】
	A13 児童は、進んで学習に取り組んでいる。 【数値指標】 全体アンケート 「児童は授業中に進んで話し合い、分かりやすく発表するなど積極的に学習している」 ⇒児童の肯定的回答 80% 以上	① 授業では、聞く態度の定着を基盤に、基礎・基本の徹底を図るとともに、様々な学び合いの中で「練り合う」場面を設定し、「話す」の力を高めながら、自分の考えを堂々と表現できる児童を育てる。 ② 学び合いの場面では、友達の考えを参考にしたり、比較したりしながら、自分の考えをまとめ、表現する力の育成に努める。	A13について 【達成状況】 【次年度の方針】
学 習	B4 基礎的・基本的な学習内容を身につける。【全】 【数値指標】 全体アンケート 「児童は、授業中に先生や友達の話をよく聞くなど、落ち着いて学習している」 ⇒児童の肯定的回答 80% 以上	① 朝の学習や授業において、漢字・計算等の徹底した反復練習によって定着を図り、達成感を味わわせることにより学習の習慣化を目指す。 ② 家庭と連携を図りながら、(学年×10分)の家庭学習を実践する。	B4について 【達成状況】 【次年度の方針】
	A14 児童は落ち着いて学習に取り組んでいる。 【数値指標】 全体アンケート 「児童は、授業中に先生や友達の話をよく聞くなど、落ち着いて学習している」 ⇒児童・保護者の肯定的回答 80% 以上	① 学習の基盤となる学習態度や学習技能を身につけるために、学校全体で「学習のきまり」に取組み、系統的に発展的指導に努める。 ② 「話の聞き方」については、全教育活動を通して、学年の発達段階を踏まえつつ、全職員による共通理解のもとで育成する。	A14について 【達成状況】 【次年度の方針】
本 校 の 特 色 ・ 課 題	B5 自分の住んでいる地域を理解し、郷土に対する愛情を持っている。 【数値指標】 全体アンケート 「校外に出て、地域を調べたり体験したりする学習は、地域理解に役立つ活動である。」	① 「ふるさとカルタ」について調べる中で、地域のすばらしさに触れ、地域の方との交流を深める。さらに、家庭でもカルタを利用してもらうことにより家庭と連携しあった活動を目指す。また、地域のシンボルである羽黒山に登り、郷土愛をはぐくむ。	B5について 【達成状況】 【次年度の方針】

等	「食農体験活動は農業や食への理解や関心を深めるために大切な活動である」 ⇒児童・保護者の肯定的回答 80%以上	② 全児童が食農体験事業で田植えや稲刈りを体験したり、5年児童が総合で稲の観察や世話などを実践したりすることで農業や食への理解や関心を深める。	
---	---	---	--

〔総合的な評価〕

※地域学校園内で共通する方針・重点目標・取組に関わる内容は文頭に○印または該当箇所の下線を付ける。

6 学校関係者評価

7 まとめと次年度へ向けて（学校関係者評価を受けて）